
令和6年度PTA予算 説明資料抜粋版

前年比較と主な変更点

【今年度(令和6年度)予算のポイント】

- 予算策定の原則(PTA予算は赤羽台西小の運営上必要な活動と児童のための活動のみに利用する)※1
- 年会費負担軽減(年間4800円>3000円)※2
- 実費負担が生じるPTAから児童への支給品を原則ゼロに ※3
- 積立用特別口座5つのうち、特別会計口座、備品積立口座の廃止と一般会計口座への統合 ※4
 - 統合された特別口座への積立金廃止 ※4-1
 - 統合に伴う一般会計繰越金の一時的増加 ※ 4-2
 - 統合に伴う会計項目予算の調整(報償費)※ 4-3
- 周年記念積立金の今年度取りやめ ※5
- 費目新設 ドッジボール大会援助金 ※6
- 吹奏楽部への援助金増額 ※7
- 厚生特別会計による必要備品の購入 ※8

【今年度(令和6年度)予算のポイント】

- 予算策定の原則(PTA予算は赤羽台西小の運営上必要な活動と児童のための活動のみに利用する)※1
- 年会費負担軽減(年間4800円>3000円)※2
- 実費負担が生じるPTAから児童への支給品を原則ゼロに ※3
- 積立用特別口座5つのうち、特別会計口座、備品積立口座の廃止と一般会計口座への統合 ※4
 - 統合された特別口座への積立金廃止 ※4-1
 - 統合に伴う一般会計繰越金の一時的増加 ※ 4-2
 - 統合に伴う会計項目予算の調整(報償費)※ 4-3
- 周年記念積立金の今年度取りやめ ※5
- 費目新設 ドッジボール大会援助金 ※6
- 吹奏楽部への援助金増額 ※7
- 厚生特別会計による必要備品の購入 ※8

変更の意図と趣旨

※1 PTA予算は基本的に児童のみに支出を行い、保護者のみ参加行事向けの予算（歓送迎会など）は無くす、もしくは減らしていく方針を確認しました。

※2 加入率100%が前提ではなくなりつつあるPTAとして、将来の会員数減少も視野にいれ、会員会費の負担軽減化をはかりました。（月額400円年間4800円>年間3000円に減額、-37.5%減）

さらに会計負担を減らすため、以下の簡素化を行います。

- ・月額徴収をやめ年額徴収へ
- ・年度途中退会における精算返金は行わない
- ・非会員よりの実費精算を行わない

※3 非会員から実費精算がなくなるため、会員・非会員の不公平が生じないよう、PTAから児童への支給品（入学祝、運動会賞品、卒業祝記念品）を原則廃止します。

【今年度(令和6年度)予算のポイント】

- 予算策定の原則(PTA予算は赤羽台西小の運営上必要な活動と児童のための活動のみに利用する)※1
- 年会費負担軽減(年間4800円>3000円)※2
- 実費負担が生じるPTAから児童への支給品を原則ゼロに ※3
- **積立用特別口座5つのうち、特別会計口座、備品積立口座の廃止と一般会計口座への統合 ※4**
 - 統合された特別口座への積立金廃止 ※4-1
 - 統合に伴う一般会計繰越金の一時的増加 ※ 4-2
 - 統合に伴う会計項目予算の調整(報償費)※ 4-3
- 周年記念積立金の今年度取りやめ ※5
- 費目新設 ドッジボール大会援助金 ※6
- 吹奏楽部への援助金増額 ※7
- 厚生特別会計による必要備品の購入 ※8

変更の意図と趣旨

※4 会計負担の軽減をはかるべく、一般会計とは別にあった特別口座のうち
・備品積立口座(PTA利用のパソコン、シュレッダー等、備品購入用)
・特別会計口座(会員向け慶弔費、4月歓送迎会用)
の2つを無くします。これに付隨して

※4-1 それぞれの口座への一般会計からの年定額積立、10万円、8万円を今年度より無くします。

※4-2 口座の積立残額を一般会計口座に雑収入として繰入れました。(約102万円)

※4-3 特別会計口座でまかなっていた慶弔費予算を今年度からは一般会計の報償費項目に計上することにします。予算として増額調整しております。

【今年度(令和6年度)予算のポイント】

- 予算策定の原則(PTA予算は赤羽台西小の運営上必要な活動と児童のための活動のみに利用する)※1
- 年会費負担軽減(年間4800円>3000円)※2
- 実費負担が生じるPTAから児童への支給品を原則ゼロに ※3
- 積立用特別口座5つのうち、特別会計口座、備品積立口座の廃止と一般会計口座への統合 ※4
 - 統合された特別口座への積立金廃止 ※4-1
 - 統合に伴う一般会計繰越金の一時的増加 ※ 4-2
 - 統合に伴う会計項目予算の調整(報償費)※ 4-3
- **周年記念積立金の今年度取りやめ ※5**
- **費目新設 ドッジボール大会援助金 ※6**
- **吹奏楽部への援助金増額 ※7**
- **厚生特別会計による必要備品の購入 ※8**

変更の意図と趣旨

ここでは、一般会計内の費目ごとについての調整を行っています

※5 10年に一度行う周年事業に向けての年定額積立(例年20万円)を行うか否かを各年度ごとに判断する形にします。現時点ですでに約90万円あることと、周年事業の簡素化をはかるため今年度は取りやめの判断といたしました。

※6 従来、厚生会計口座より支出していたものを一般会計に計上するよう新設しました。また、保護者ボランティアによるコーチが難しくなっている現状を鑑み、外部コーチの招聘等にも費用をあてる予定です。

※7 専科担当教師から保護者ボランティアによる運営への移行に伴い、講師謝礼、楽器整備等への手当を増額いたします。特に今年度はメンテナンス不足が疑われる楽器が多い状況を鑑み、一時的な増額の位置づけとなります。

なお、今後も予算の執行については、実情を精査の上、優先度を検討して支援していく方針です。

【今年度(令和6年度)予算のポイント】

- 予算策定の原則(PTA予算は赤羽台西小の運営上必要な活動と児童のための活動のみに利用する)※1
- 年会費負担軽減(年間4800円>3000円)※2
- 実費負担が生じるPTAから児童への支給品を原則ゼロに ※3
- 積立用特別口座5つのうち、特別会計口座、備品積立口座の廃止と一般会計口座への統合 ※4
 - 統合された特別口座への積立金廃止 ※4-1
 - 統合に伴う一般会計繰越金の一時的増加 ※ 4-2
 - 統合に伴う会計項目予算の調整(報償費)※ 4-3
- 周年記念積立金の今年度取りやめ ※5
- 費目新設 ドッジボール大会援助金 ※6
- 吹奏楽部への援助金増額 ※7
- **厚生特別会計による必要備品の購入** ※8

変更の意図と趣旨

※8 現在、PTAで得ている収入は主に以下の二つです。

・会員より集める会費 年間約80万円

・リサイクル委員会による古紙等の集団回収による報奨金 約30万円

厚生特別会計(リサイクル委員会用口座)にある積立金・報奨金は地域の方にも学校のために使用するということで協力を得ております。(赤羽住宅より古紙の寄贈をいただいています)そこで、子どもたちの学校生活を充実させるための備品購入に積極的に活用していく方針です。

以下の支出先カテゴリとしては1および2を厚生特別会計から捻出し、3はPTA会費を原資とします。

1. 学習以外で学校生活を充実させる備品(校庭開放、読書)にはPTAが負担

2. 学習(授業)に必要な備品は原則公費(学校)負担。ただし、昨年度のテントや今年度のミシンのように緊急の場合のみ特例的にPTAが検討します。

3. PTAのイベント(西の子、ドッジボール、給食試食会)およびクラブ活動の援助はPTAが負担

頂いた質問1

質問: 今年度予算案では、全校児童を対象とした既存の西の子まつり向けよりも、一部の児童対象のドッヂボールや吹奏楽に多くの予算が割かれているようです。卒業記念品や運動会景品への支出もやめたのに、これらにはなぜ予算が付いたのでしょうか？

回答1

この度の予算案について、貴重なご意見をありがとうございます。まず、予算配分に対する不安や疑問にお答えする前に、改革の背景と目指す方向性についてご説明いたします。

予算改革の目的と原則について

今年度の予算改革は、PTA活動が学校運営と児童のための活動に集中するよう透明性と効率性を高めるために行われました。これにより、年会費を4800円から3000円に改定することが可能となり、多くのご家庭の負担軽減につながると考えています。

特定活動への予算配分について

確かに、ドッジボール大会や吹奏楽部への支出は、対象人数が少ないと感じられるかもしれません。しかし、これらの活動は児童の多様な興味や才能を育む重要な機会であり、学校全体の活力を高める要素となります。特に吹奏楽部は、学校の代表として外部イベントにも参加することが多くPTAとして支援する意義が大きいと考えています。

回答1(続き)

全校児童への還元について

全校児童を対象とした活動やイベントも引き続き重要視しており、そのための予算も適切に確保しています。西の子まつりに関しては、全校児童が参加できるイベントとして継続し、十分な予算を確保する予定です。また、卒業記念品は別途、卒業対策委員会の予算で継続します。

総会での意見収集

今回の予算案についても、総会でのアンケート等を活用し会員の皆様からのご意見を広くうかがい、今後さらに改善を図りたいと考えています。皆様のご意見をもとに、全体の利益を最優先に考えた予算案を作成するために、ぜひ積極的にご回答いただければと思います。

PTAとして、全ての会員の方々の声を大切にし、より良い活動を行うために努力してまいります。どうぞご理解とご協力をお願い申し上げます。

補足1 吹奏楽の予算について

吹奏楽部は現在34名の部員で構成されており、音楽専科の先生管理の元、保護者ボランティアの方々により日々の練習を行っています。

各会員が負担している部費とは別にPTAが支援している予算として以下のようになります。

1. 講師ボランティア謝礼 週3回、またアドホックに行われる練習に指導してきていただいているボランティア講師の方へのお気持ち
2. 消耗品費 リード等、管楽器における消耗品
3. 楽器メンテ、修理 不定期に行われる楽器のメンテナンス、修理等でかかる経費

※1・2は毎年必要なもの、3は必要に応じて支援するものです。

補足1 ドッジボール大会予算新設について

毎年11月から12月にかけて、赤羽西地区の6校(赤羽台西小、桐ヶ丘郷小、八幡小、袋小、西が丘小、梅木小)が合同で、小P連主催のドッジボール大会を開催しています。この大会は、普段は出会うことのない他校の児童と競い合う貴重な機会です。勝った時の喜び、負けた時の悔しさ、そして皆で力を合わせる体験は、子どもたちにとって大変貴重なものです。

しかし、この大会の運営には多くの人手が必要です。事前の練習や大会当日にも、多くの保護者の協力が欠かせません。近年の状況の変化により、保護者会員を中心とした無償ボランティアだけでの運営が難しくなってきています。

このため、今年度の予算には、新たに事前練習や大会当日のボランティア経費の負担を盛り込みました。これにより、よりスムーズで安全な大会運営が可能となります。子どもたちの健全な成長を支えるため、皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

頂いた質問2

質問: 今年度PTA予算では厚生特別会計(リサイクル委員会用口座)は積極的に備品購入に活用していくと聞いております。実際に購入する備品の品目決定はどういうプロセスになっているのでしょうか。

また、学校備品の購入は公費によって賄われることが原則だと思いますが、なぜPTA予算での購入となつたのでしょうか。

回答2

ご質問ありがとうございます。厚生特別会計(リサイクル委員会用口座)について、以下の点をご説明いたします。

備品購入のプロセス

厚生特別会計による備品購入のプロセスは、以下のように行われます。

1. 総会アンケートにおいて、会員の皆様からの購入備品の候補をあげていただく
2. PTA役員会内で緊急度、購入予算額等、各種条件を考慮の上、学校側へ選択肢を提示
3. 学校からの要望収集:先生方や管理職から、教育活動に必要な備品の要望を収集
4. 優先順位の設定:収集した要望をもとに、教育効果や児童のニーズを考慮し、優先順位を設定します。
5. 運営委員会での審議:定期開催される運営委員会の席上で、購入品目を決定します。この後PTA総会でも報告と承認を受けます。
6. 購入と配備:決定した備品を購入し、学校に配備します。

回答2(続き)

公費購入の原則について

本来、学校備品購入は公費で賄われることが原則ですが、以下の理由から PTA予算を活用しています

- 予算の制約: 現実として、学校に割り当てられる公費予算は限られており、学習に必要な備品であっても十分に購入できない状況があります。例えば、ミシンのような特定の教育機材は予算不足でタイムリーに購入することが困難です。
- 教育環境の充実: PTAは、児童たちがより良い学習環境で教育を受けられるよう支援することを使命としています。公費で賄えない部分を補うことで、教育の質を向上させることができます。

会員の皆様へのお願い

今回の備品購入に関しても、透明性を保ちつつ進めておりますが、さらに改善の余地があると考えています。

皆様からのご意見やご提案を積極的に取り入れ、より良いプロセスを構築していきたいと思います。ぜひ、総会やリサイクル委員会等の各種会合にご参加いただき、ご意見をお聞かせください。

厚生(廃品回収)口座の活用について

リサイクル委員会(旧厚生委員会)は、ベルマーク活動に加え、リサイクル用資源の集団回収活動も行っています。現在は、赤羽台西小学校だけでなく、赤羽住宅から出るリサイクル資源も収集しており、年間で約30万円の報奨金を得ています。この報奨金は、厚生口座に積み立てられています。

厚生口座の資金は、保護者会員より支出いただいているPTA会費とは別であり、「地域の方々にも学校のために使用する」という目的で協力を得た予算です。

そこで、今年度より、厚生口座にある資金を学校内で必要な物品の購入に充てることといたしました。これにより、学校の教育環境をさらに充実させることができます。